

設置計画の概要

事項	記入欄
事前相談事項	事前伺い
計画の区分	研究科の専攻の設置
フリガナ設置者	コクリツダイガクホウジンナラジョンダイガク 国立大学法人奈良女子大学
フリガナ大学の名称	ナラジョンダイガクダイガクイン 奈良女子大学大学院 (Graduate School, Nara Women's University)
新設学部等において養成する人材像	<p>【人間文化研究科博士前期課程 心身健康学専攻】</p> <p>① 養成する人材像 本専攻は、学部の改組に対応して平成26年度に、既設の「生活健康・衣環境学専攻」に「臨床心理学コース」を新設して「心身健康学専攻」に変更するものである。 現行の人間行動科学専攻人間関係行動学コースの臨床心理系を強化補充し、生活健康・衣環境学専攻生活健康学コースの教育体系を心身の健康というコンセプトで統合・組織化し、心身健康学専攻内に生活健康学コース、臨床心理学コース、衣環境学コースを設置し、学部と大学院博士前期課程との連携を強化する。本専攻では、人間が心身ともに健康で快適かつ安全に生活できるための幅広い知識を有し、高度な研究能力と実践力を兼備した女性人材を養成する。博士前期課程の本専攻では、学部で学んだ一定水準の知識を深化させるとともに研究とディスカッションを多用し汎化能力を高める。各コースの概要は以下の通りである。</p> <p>(生活健康学コース) 心と身体の健康に関する系統的で幅広い知識を基礎として、科学的視点で生活環境や社会環境、運動を含む生活習慣との関連から心身の健康に関する専門的で独創的な研究を推進することのできる人材を養成する。</p> <p>(衣環境学コース) 安全で快適な衣環境を構築できる能力とモバイル装置としての衣服を構想できる能力で社会に貢献できる人材を養成する。さらに、専門的知識のみならず、社会に貢献する科学の在り方を理解し、実践できる能力を持つ人材を養成する。</p> <p>(臨床心理学コース) 心と身体の健康に関する系統的で幅広い知識を基礎として、人間存在を全体的な観点から捉えていく人間理解の方法を身につけ、他者・自己理解力やコミュニケーション力を持つ、援助者として高度な実践能力を持つ人材を養成する。</p> <p>② 習得させる能力 本専攻では、心身の健康を維持しながら安全で快適に生活するための生活手段や生活方法を提案し実践できる能力を養う。科学的な研究能力を駆使して、肉体・物質・精神の3つの側面から、高度な生活指導が行えるように教育する。各コースの概要は以下の通りである。</p> <p>(生活健康学コース) 心と身体の健康に関する科学的知識を生理学、心理学、人間工学、生化学、栄養学、分子生物学等の視点から総合的に身に付ける一方、生活環境、生活習慣と健康との関連に関してそれぞれの視点から、より専門的に独創的な研究を行うことのできる能力を養う。</p> <p>(衣環境学コース) 衣環境学に関連する自然科学分野の高い水準の基礎学力を身につけ、フロンティア技術への挑戦とともに安全で快適な衣環境を設計し、持続可能社会へ貢献できる能力を養う。</p> <p>(臨床心理学コース) 心身の健康に関する科学的な知識を総合的に身につけ、更に人間観、世界観、宇宙観を構築し、感受能力を磨き、全体的な観点からの人間理解の能力を身につける。</p> <p>③ 修了後の進路等 心身の健康や衣に関わる企業における研究・開発。高等教育機関等における教育・研究。カウンセラー(臨床心理士)。自治体、健康産業などでの健康事業の実践。繊維・洗剤・アパレル・流通に加えて家電・自動車・ロボット業界の研究スタッフ。中学校・高等学校教員(家庭専修免許)。</p>

<p>既設学部等において養成する人材像</p>	<p>【人間文化研究科博士前期課程 生活健康・衣環境学専攻 生活健康学コース・衣環境学コース】</p> <p>① 養成する人材像 健康で快適さらに安全な生活のあり方を、栄養、細胞、運動、睡眠、環境などの多彩な側面から研究・教育する生活健康学コースと、衣環境素材の機能性、感性、デザイン、設計・管理などについて分子レベルでのミクロな領域からマクロな領域まで研究・教育する衣環境学コースの2コースから編成されており、共に高度な研究能力と知識を持つ優秀な人材の養成を教育理念としている。また、両コースとも専門的知識のみならず創造性豊かな研究能力や総合的課題処理能力をもつ人材を養成する。</p> <p>② 習得させる能力 生活健康学コースでは、分子レベルから生体まで幅広い範囲にわたって教育・研究を行い、生活環境や生活習慣との関連から健康に関して幅広い知識を深めながら、専門領域における創造性と独創性のある研究を行うことのできる能力を習得させる。衣環境学コースでは、快適で安全な生活のあり方を、衣環境の視点から自然科学的な方法論で研究・教育し、専門的知識のみならず創造性豊かな研究能力や総合的課題処理能力を習得させる。</p> <p>③ 修了後の進路等 健康増進関連企業や研究所等における健康増進スタッフ。官公庁の健康生活関連の職員。製薬、保健・健康関連企業等の研究開発スタッフ。地域社会における健康問題の指導者。繊維・洗剤・アパレル・流通などの研究所等における研究スタッフ。生活関連企業の研究開発員。大学・短大教員。専修免許を持つ中学・高校家庭科教師など。</p> <p>【人間文化研究科博士前期課程 人間行動科学専攻 人間関係行動学コース】</p> <p>① 養成する人材像 認知や知覚など基礎心理学、発達や教育の心理学、社会や対人関係の心理学、臨床心理学などを総合的に学び、一方では人間のあり方に焦点をあて、人間関係と行動に関する問題について理論と実践の両方を視野に入れて現象にアプローチできる人材を養成する。</p> <p>② 習得させる能力 人間関係と行動の諸側面を、心理学のさまざまな角度から教育・研究を行い、認知や知覚など基礎心理学のほか、発達や教育の心理学、対人心理学、臨床心理学の見地を活用し、理論と実践の両方を視野に入れて現象にアプローチできる能力を習得する。また、実験や社会調査といった定量的研究や、フィールド観察やライフ・ストーリー面接など質的研究のどちらの方法であっても、現象を深く鋭く追究し、専門性を開拓できる能力を習得させる。さらに、人間文化研究科附属心理教育相談室の活動を通し、心理臨床や臨床発達の実践的能力を習得させる。</p> <p>③ 修了後の進路等 心理職(自治体心理職、児童養護施設職員、療育施設職員、児童相談所、少年院法務技官など)。小学校教員。公務員。マスコミ関連(出版社、テレビ局など)。</p>
<p>新設学部等において取得可能な資格</p>	<p>【人間文化研究科博士前期課程 心身健康学専攻 生活健康学コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校・高等学校教諭専修免許状(家庭) ① 国家資格, ② 資格取得可能 ③ 修了要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要 ・健康運動指導士 ① 民間資格, ② 受験資格(本学生活環境学部生活健康・衣環境学科からの進学者に限る) ③ 修了要件単位に含まれる科目の履修のみで受験資格取得可能だが、資格取得が修了の必須条件ではない。 <p>【人間文化研究科博士前期課程 心身健康学専攻 衣環境学コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校・高等学校教諭専修免許状(家庭) ① 国家資格, ② 資格取得可能 ③ 修了要件単位に含まれる科目のほか、教職関連科目の履修が必要 <p>【人間文化研究科博士前期課程 心身健康学専攻 臨床心理学コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・臨床心理士 ① 民間資格, ② 受験資格 ③ 修了要件単位に含まれる科目の履修のみで受験資格取得可能だが、資格取得が修了の必須条件ではない。 ・健康運動指導士 ① 民間資格, ② 受験資格(本学生活環境学部生活健康・衣環境学科からの進学者に限る) ③ 修了要件単位に含まれる科目の履修のみで受験資格取得可能だが、資格取得が修了の必須条件ではない。

既設学部等において取得可能な資格	<p>【人間文化研究科博士前期課程 生活健康・衣環境学専攻 生活健康学コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校・高等学校教諭専修免許状（家庭） <ol style="list-style-type: none"> ① 国家資格, ② 資格取得可能 ③ 修了要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要 ・健康運動指導士 <ol style="list-style-type: none"> ① 民間資格, ② 受験資格（本学生活環境学部生活健康・衣環境学科からの進学者に限る） ③ 修了要件単位に含まれる科目の履修のみで受験資格取得可能だが, 資格取得が修了の必須条件ではない。
	<p>【人間文化研究科博士前期課程 生活健康・衣環境学専攻 衣環境学コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校・高等学校教諭専修免許状（家庭） <ol style="list-style-type: none"> ① 国家資格, ② 資格取得可能 ③ 修了要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要
	<p>【人間文化研究科博士前期課程 人間行動科学専攻 人間関係行動学コース】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・小学校教諭専修免許状 <ol style="list-style-type: none"> ① 国家資格, ② 資格取得可能 ③ 修了要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要 ・幼稚園教諭専修免許状 <ol style="list-style-type: none"> ① 国家資格, ② 資格取得可能 ③ 修了要件単位に含まれる科目のほか, 教職関連科目の履修が必要 ・臨床発達心理士 <ol style="list-style-type: none"> ① 民間資格, ② 資格取得可能 ③ 修了要件単位に含まれる科目の履修のみで取得可能だが, 資格取得が修了の必須条件ではない。

新設学部等の概要	新設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動元	助教以上	うち教授
	人間文化研究科博士前期課程 [Graduate School of Humanities and Sciences] (Master's Course)	心身健康学専攻 [Department of Health Sciences]	2	25		50	修士 (学術、生活環境学、家政学)	家政関係、文学関係	平成26年4月	生活健康・衣環境学専攻	13	7
									人間行動科学専攻	3	2	
									情報科学専攻	1	1	
									その他	2	1	
									新規採用	4	1	
									計	23	12	
既設学部等の概要	既設学部等の名称		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	授与する学位等		開設時期	専任教員		
							学位又は称号	学位又は学科の分野		異動先	助教以上	うち教授
	人間文化研究科博士前期課程	生活健康・衣環境学専攻 (廃止)	2	13		26	修士 (学術、生活環境学、家政学)	家政関係	平成19年4月	心身健康学専攻	13	7
									退職	1	0	
									計	14	7	
人間文化研究科博士前期課程	人間行動科学専攻	2	18		36	修士 (学術、文学)	文学関係	平成10年4月	心身健康学専攻	3	2	
									人間行動科学専攻	18	7	
									退職	1	1	
									計	22	10	
人間文化研究科博士前期課程	情報科学専攻	2	12		24	修士 (学術、理学)	理学関係	平成10年4月	心身健康学専攻	1	1	
									情報科学専攻	13	5	
									その他	1	0	
									計	15	6	

【備考欄】

大学院設置基準第14条における教育方法の特例を実施する。

教育課程等の概要 (事前伺い)

大学院人間文化研究科博士前期課程 心身健康学専攻

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
生活健康学 コース 専門群	環境生理論	1前		2		○			1						D群 D群 オムニバス オムニバス
	環境生理論演習	1後		2			○		1						
	食健康科学	1前		2		○			1						
	食健康科学演習	1後		2			○		1						
	神経生理学特論	1前		2		○			1						
	自律神経学特論	1後		2			○		1						
	心身医学特論	1前		2		○			1						
	心身医学特論演習	1後		2			○		1						
	環境人間工学特論	1前		2		○				1					
	環境人間工学演習	1後		2			○			1					
	生体機能調節論	1前		2		○				1					
	生体機能調節論演習	1後		2			○			1					
	生活健康論 I	1前		2		○			3			1			
	生活健康論 II	1後		2		○			2	2					
	ヘルスプロモーション論	1前		2		○			1						
	ヘルスプロモーション論演習	1後		2			○		1						
小計 (16科目)	—	—	0	32	0	—	—	—	5	2	0	1	0	0	—
衣環境学 コース 専門群	アパレル洗浄論	1後		2		○				1					兼1 兼1 兼1 オムニバス 兼 兼3
	アパレル洗浄論演習	1後		2			○			1					
	アパレルインターフェース構成論	1前		2		○					1				
	アパレルインターフェース構成論演習	1前		2			○				1				
	衣環境管理論	1前		2		○			1						
	衣環境管理論演習	1後		2			○		1						
	アパレル情報処理論	1前		2		○			1						
	アパレル情報処理論演習	1前		2			○		1						
	繊維材料構造論	1後		2		○			1						
	繊維材料構造論演習	1後		2			○		1						
	繊維集合体物性論	1後		2		○				1					
	繊維集合体物性論演習	1後		2			○			1					
	繊維材料物性論	1後		2		○						1			
	繊維材料物性論演習	1後		2			○					1			
	アパレル製品設計学	1後集中		2		○									
	アパレル評価論	1後		2		○									
	アパレル感性情報処理論	1前集中		2		○									
	アパレル科学特論	1前集中		2		○			3	2	1				
	コンピュータアーキテクチャ特論	1前		2		○			1						
	オペレーティングシステム特論	1後		2		○			1						
	コンピュータネットワーク特論	1前		2		○			1						
	ソフトウェア工学特論	1後		2		○			1						
	プロジェクトマネジメント特論	1後		2		○			1						
	セキュリティ特論	1前		2		○			1						
	経営工学特論	1後		2		○			1						
	情報学特論	1前		2		○			2						
	ユビキタスドクター演習	1前		2			○								
小計 (27科目)	—	—	0	54	0	—	—	—	5	2	1	1	0	兼3	—

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考	
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手		
臨床心理学コース専門群	臨床心理学特論Ⅰ	1前		2		○			1					#	
	臨床心理学特論Ⅱ	1後		2		○				1				#	
	臨床心理学面接特論Ⅰ	1前		2		○			1					#	
	臨床心理学面接特論Ⅱ	1後		2		○				1				#	
	臨床心理査定演習Ⅰ	1前		2			○		2	2		2		#	オムニバス
	臨床心理査定演習Ⅱ	1後		2			○		2	2		2		#	オムニバス
	臨床心理基礎実習Ⅰ	1前		1				○	2	2		2		#	オムニバス
	臨床心理基礎実習Ⅱ	1後		1				○	2	2		2		#	オムニバス
	臨床心理実習Ⅰ	1前		1				○	2	2		2		#	オムニバス
	臨床心理実習Ⅱ	1後		1				○	2	2		2		#	オムニバス
	心理学研究法特論	1前		2			○			1					A群
	心理統計法特論	1後		2			○					1			A群
	臨床心理学研究法特論	1前		2								1			A群
	発達心理学特論	2前		2			○					1			B群
	学習心理学特論	1後		2								1			B群
	教育心理学特論	1後		2			○			1					B群
	家族心理学特論	1後		2			○			1					C群
	犯罪心理学特論	2前		2			○				1				C群
	臨床心理関連行政論	1後		2			○				1				C群
	精神医学特論	2後		2			○							兼1	D群
	投影法特論	2前		2			○			1					E群
	心理療法特論	1後		2			○				1				E群
	学校臨床心理学特論	1前		2			○			1					E群
小計(23科目)		—	0	42	0				2	2	0	2	0	兼1	—
論文等作成群	生活健康学特別研究	1前後, 2前後		10				○	5	2	0	1	0		生活健康学コース必修科目
	衣環境学特別研究	1前後, 2前後		10				○	5	2	1	1	0		衣環境学コース必修科目
	臨床心理学特別研究	1前後, 2前後		10				○	2	2	0	2	0		臨床心理学コース必修科目
	小計(3科目)		—	0	30	0			12	6	1	4	0	0	—
合計(69科目)			—	0	158	0			12	6	1	4	0	兼4	—
学位又は称号		修士(学術、生活環境学、家政学)			学位又は学科の分野			家政関係、文学関係							
設置の趣旨・必要性															
<p>I 設置の趣旨・必要性</p> <p>人々が豊かな生活を営むためには、心身ともに健康であることが基本であり、誰もが健康な生活を送ることを願っている。それゆえ、人々の健康に対する関心は極めて高い。心身の健康について、睡眠や運動習慣を含む生活習慣、対人関係や生きがいなどの心の健康、心身を物質で保護し安らぎを与える衣環境との関連から幅広く総合的に教育・研究を行うことが心身健康学専攻の目的である。本専攻では、心と身体の健康に関する知識を、生理学、心理学、人間工学や衣環境学などの視点で幅広く学び、これらを有機的に融合させ、健康について統合的な知識を身に付ける。さらに、総合的な知識を基盤とし、専門的な分野における研究能力を養成することにより、幅広い見識を持った研究能力をもつ人材を養成する。</p> <p>心身健康学専攻では、生活健康学コース、臨床心理学コース、衣環境学コースの3つのコースを設置し、それぞれのコースで特化した教育・研究を推進するとともに、多様化した社会に多面的に貢献できる深い専門性を身に付けた創造性豊かな女性人材を養成するために、各専門分野間で連携のとれた教育体系を設置する。</p> <p>生活健康学コースでは、分子レベルから生体まで幅広い範囲にわたって教育・研究を行い、生活環境や生活習慣との関連から健康に関して幅広い知識を深めながら専門領域における創造性のある研究資質を育て、より専門的に独創的な研究を行うことができ、男女共同参画社会をリードし活躍できる女性人材養成のための教育を実施する。</p> <p>衣環境学コースでは、健康で快適かつ安全な生活の在り方を、衣環境の視点から自然科学の方法論と設計科学の方法論で教育・研究し、高度な研究能力と知識を持つ人材を養成する。ウェアラブルコンピュータ等のフロンティア技術に挑戦する能力等、専門知識のみならず創造性豊かな研究能力や総合的課題処理能力を持つ女性人材を養成する。</p> <p>臨床心理学コースでは、人の心の問題に取り組む高度専門職業人を養成するため、臨床心理士養成コースに対応する教育・研究を行う。養成課程に含まれる地域住民に対する心理・教育相談等の実践を通じて、より実践的に社会貢献できる女性人材を養成する。</p>															

II 教育課程編成の考え方・特色

1 編成・立案の基本方針について

高度な科学研究の成果を応用して健康で安全な生活を実現するためにはいくつかのアプローチが考えられる。心身健康学専攻では、身体自身が健康で、健康をサポートする衣環境があり、生きがいを持ち心が満たされている状況を基本構造とした。そのため、教育研究の方法論により3つのコースを設けた。

生活健康学コースでは、心と身体の健康に関する内容を幅広く学習するために、それぞれの学習内容が有機的に連動するようなブリッジ科目を設置するなど、健康について統合的な知識を学習できるカリキュラムを準備する。本コースでは、生理学、心理学、人間工学、生化学、栄養学、分子生物学、衛生学の分野の教員によって構成され、それぞれの分野で研究手法やアプローチに特色がある。生活健康論Ⅰおよび生活健康論Ⅱでは、それぞれの分野の一線で活躍する研究者を招聘し、セミナー形式の討論会をするとともに、複数の教員によって補足講義を実施し、その中でそれぞれの研究手法やアプローチについて相互理解を深めるための橋渡しの（ブリッジ）科目としての目的を有する。また、コースを超えたブリッジ科目として、生活健康学コースと臨床心理学コースでは、両分野に関係する心身医学特論と神経生理学特論を開講する。企業や大学等における研究者としての資質を磨くために、より多くの時間を研究に専念できるように一部の科目は集中講義形式とし、定期的開講科目もフレキシブルな講義時間や補講を行うことによって、学生の研究のための時間を優先する環境を整える。また、教員及び学生同士が多くディスカッションを行う機会を準備する。教育効果を高めるために、講義の担当形式を単独だけでなく、複数教員による解説と討論を踏まえた講義形式や、講義及び演習の中にも実験実習を取り入れ、そのデータとともに講義や演習を展開するなどの多様な授業形態を導入し、学習指導法を改善する。また、中学校・高等学校教諭専修免許状（家庭）を取得できる教育課程を置く。

衣環境学コースでは、衣環境学に関連する自然科学分野の高い水準の基礎学力を習得させる。安全で快適な衣環境を設計し、持続可能社会へ貢献できる能力を習得させる。ウェアラブルコンピュータ等のフロンティア技術に挑戦する能力を習得させる。衣環境や衣生活に関する課題発見力及びその課題を解決するための創造力を習得させる。また、アパレル科学特論および情報学特論では、オムニバス形式で講義を実施し、コース内の教員全員が担当し、それぞれの分野を総合的に学習することによって、衣に関する物質や環境に情報を融合し、快適な衣生活の実現を創造する能力を培う。また、中学校・高等学校教諭専修免許状（家庭）を取得できる教育課程を置く。

臨床心理学コースでは、心と身体の健康に関する内容を幅広く学習するために、それぞれの学習内容が有機的に連動するようなブリッジ科目を設置する等、健康について統合的な知識を学習できるカリキュラムを準備する。本コースでは、生活健康学コースで開講される心身医学特論と神経生理学特論を選択必修科目に指定している。さらに、生活健康学コースで開講される生活健康論Ⅰおよび生活健康論Ⅱの履修もしくは同科目内で実施されるセミナーへの参加を推奨し、心からだけでなく身体の健康についても学習する機会を準備する。心理学を総合的に学び、演習・実習からより実践的な能力を身に付けるため、臨床心理相談センターの活動を通じて、臨床心理の実践を行う。さらに、指定した科目を取得することによって、臨床心理士受験資格を取得できるカリキュラムを準備する。

2 特色について

心身健康学専攻のカリキュラムの特色は、基本的な学力を高水準に保ちながら、演習やディスカッションによって人に役立つ研究を構想・実行・発信できる高度専門職業人を養成する点にある。研究手法により3つのコースを設けている。

生活健康学コースでは、心と身体の健康に関する科学的知識を生理学、心理学、人間工学、生化学、栄養学、分子生物学、衛生学等の視点から総合的に身に付ける一方、生活環境、生活習慣と健康との関連に関してそれぞれの視点から、より専門的に独創的な研究を行うことのできる能力を養う。自主性・自立性を養成するために、コース内の選択必修科目だけでなく、他コース内にある授業科目の履修を推奨する。ディスカッションの機会を増やすために、多くの学外研究者を招聘し、セミナー形式の授業科目を設ける。複数教員による個別指導も含め、きめ細やかな指導によってコースを修了する学生の質を保証する。

衣環境学コースでは、衣環境学に関連する自然科学分野の高い水準の基礎学力をもち、衣服分野のリーダーとなる人材を養成する。繊維や衣服の設計により、ひとにやさしい衣環境を設計できる能力を養う。弱者支援のユビキタスドクター装置の演習を通じ、フロンティアであるウェアラブルコンピュータを設計できる能力を培うカリキュラムを提供する。複数教員による個別指導も含め、きめ細やかな指導によってコースを修了する学生の質を保証する。

臨床心理学コースでは、心身の健康について統合的な知識を有する「こころ」の高度専門職業人を養成する。自主性・自立性を養成するために、コース内の選択必修科目だけでなく、他コース内にある授業科目の履修を推奨する。地域住民に対する心理・教育相談等の実践を通じて、より多くの経験を積むことができるカリキュラムを提供する。複数教員による個別指導も含め、きめ細やかな指導によってコースを修了する学生の質を保証する。

修了要件及び履修方法	授業期間等	
コース専門科目から論文等作成群の10単位を含む30単位以上を修得し、必要な研究指導を受けた上で修士論文又は特定の課題に関する研究の成果の審査及び最終試験に合格すること。 ただし、臨床心理士受験資格には、備考欄に#のある科目を必修とし、A群からE群まで各1科目（計10単位以上）を修得する必要がある。	1学年の学期区分	2学期
	1学期の授業期間	15週
	1時限の授業時間	90分

教育課程等の概要(事前伺い)

【既設】大学院人間文化研究科博士前期課程 生活健康・衣環境学専攻

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考			
			必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手				
生活健康学コース専門群	環境生理論	1前		2		○			1								
	環境生理論演習	1後		2			○		1								
	健康医化学	1・2前		2		○			1								
	健康医化学演習	1・2後		2			○		1								
	栄養生理論	1・2前		2		○						1					
	栄養生理論演習	1・2後		2			○					1					
	運動医学生理学	1・2前		2		○			1								
	運動医学生理学演習	1・2後		2			○		1								
	健康内科学	1・2前		2		○			1								
	健康内科学演習	1・2後		2			○		1								
	環境人間工学特論	1前		2		○				1							
	環境人間工学演習	1後		2			○			1							
	生体機能調節論	1前		2		○				1							
	生体機能調節論演習	1後		2			○			1							
	生活健康論Ⅰ	1前		2		○			2	1							
	生活健康論Ⅱ	1後		2		○			3								
	精神健康特論	1・2前		2		○											
	ヘルスプロモーション論	1前		2		○			1								
	ヘルスプロモーション論演習	1後		2			○		1								
小計(19科目)	—	—	0	38	0	—	—	—	5	2	0	1	0	兼1	—		
衣環境学コース専門群	アパレル洗淨論	1後		2		○				1							
	アパレル洗淨論演習	1後		2			○			1							
	アパレルインターフェース構成論	1前		2		○						1					
	アパレルインターフェース構成論演習	1前		2			○					1					
	衣環境管理論	1前		2		○			1								
	衣環境管理論演習	1後		2			○		1								
	繊維加工論	1・2前		2		○											
	繊維加工論演習	1・2前		2			○										
	アパレル情報処理論	1前		2		○											
	アパレル情報処理論演習	1前		2			○										
	繊維材料構造論	1後		2		○			1								
	繊維材料構造論演習	1後		2			○		1								
	繊維材料物性論	1後		2		○						1					
	繊維材料物性論演習	1後		2			○					1					
	繊維集合体物性論	1後		2		○				1							
	繊維集合体物性論演習	1後		2			○			1							
アパレル製品設計学	1後		2														
アパレル評価論	1後		2		○												
アパレル感性情報処理論			2		○												
アパレル科学特論			2		○			1	2								
小計(20科目)	—	—	0	40	0	—	—	—	2	2	1	1	0	兼5	—		
論文等作成群	生活健康学特別研究	1・2通		10					5	2		1					生活健康学コース必修
	衣環境学特別研究	1・2通		10					2	2	1	1					衣環境学コース必修
小計(2科目)	—	—	0	20	0	—	—	—	7	4	1	2	0	0	—		
合計(41科目)		—	0	98	0	—	—	—	7	4	1	2	0	兼6	—		
学位又は称号	修士(学術、生活環境学又は家政学)		学位又は学科の分野			家政関係											